

令和6年度 公益財団法人 丹後地域地場産業振興センター事業報告

総括的概要

令和6年度の日本経済は、エネルギー及び食料品価格の高止まり、地政学的リスクによる輸入物価の上昇など、インフレ圧力の持続により家計や中小事業者への影響が続き、構造的な変化が進行した一年となりました。

こうした中、当センターでは農林水産物の直販コーナーを充実させたほか、店頭販売での陳列の工夫及び京丹後市食品加工支援センター（以下「加工支援センター」という。）製造製品コーナーの新設にも取り組み、来場者数の増加と売上向上につなげました。

外部出展は、減少傾向にあるものの、ECサイトにおける売上の伸長により事業収益は、前年対比102.3%を確保しております。

加工支援センターでは、製造品39商品、試作品35商品の実績を上げたほか、「Tango Good Goods」認定及び見本市の開催などを通じて、地域産品の販路拡大に努めました。

ふるさと納税では、果樹の不作や高額商品の減少により、当センター経由の取扱額は前年度を下回りました。

以下、本年度の各事業実績について報告いたします。

I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

1 丹後地域新商品・新技術開発支援事業

加工食品の保存性の向上や価格の適正化など、丹後地域が抱える課題の解消を図るべく、加工支援センターを活用し、新商品・新技術の開発、試作品・パイロット商品の製造を行いました。また、販路開拓事業を通じて収集した消費者情報を基に、既存商品の改良及び新商品の開発支援も実施しました。

（1）京丹後市食品加工支援センター運営事業

令和5年1月から稼働している加工支援センターを活用し、地域内事業者の試作等を通じて食品製造をサポートしました。

稼働当初の約2年間は、製造技術の習得と商品の試作に注力し、令和7年度からは収益化フェーズへの移行を予定しています。

また、地域内事業者への利用促進を目的に、Tango Good Goods見本市や商談会等の各種機会に出展を行いました。

さらに、アミティ丹後の売店内に製造商品専用コーナーを新設し、成果品の展示販売を通じて、地域における製造への関心を高め、参加意欲を喚起しました。

（令和6年度実績）

- 製造商品：39商品（前年度：25商品） 累計51商品
- 試作商品：35商品（前年度：38商品）
- 製造相談：22件（前年度：24件）
- Tango Good Goods見本市、第17回さんとお農業フェア出展
- アミティ売店販売：9商品（前年度：6商品）累計15商品

資料1（別冊1、2ページ）

（２）丹後地域加工食品品質向上連絡会

丹後地域の加工食品製造者の商品開発、加工技術の向上及び販路開拓支援を促進することを目的に設立され、同連絡会において地域の食品加工に関する課題を共有し、解決に向けた方策を検討するとともに、加工支援センター事業の評価を行いました。

さらに今年度は、農業部門の情報共有などの充実を図るため、京都府農業改良普及センター職員もメンバーに加わり、連絡会の拡充を図っています。

（令和6年度実績）

- 開催日：令和7年2月28日（金）
- 会場：丹後地域地場産業振興センター 2階 研修室D
- 主な議題：規約改定、加工支援センターの状況、セミナー報告、連携・情報共有

（３）高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業

平成27年度に当センター内に整備した高機能急速冷凍装置を活用し、丹後地域の食品加工業者、飲食・宿泊業、小売業者など、それぞれの分野において「食」に関する新たな戦略の構築を支援しました。

- 活用実績：13社、延128回（前年度：19社、161回）
※単発利用が減少した一方で、主要事業者が機械容量を効率的に活用したため、回数は減少したが冷凍処理量は増加傾向にある。

Ⅱ 人材育成事業（公益目的事業１）

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属製造業をはじめ、地域事業所、商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域の特性を活かした未来指向型の産業・ワークスタイルを創造し、新たな産業・事業所の創出を図り、雇用・就業の機会を促進するため、以下の人材育成事業を実施しました。

1 創業支援事業

平成26年度から創業支援事業として創業支援窓口を開設し、京丹後市をはじめとした関係機関・団体と連携協力し、相談及び指導、情報提供を行いました。

2 手機講習会の開催

研究開発棟に設置の手機を活用し、丹後地域の伝統産業である機械織り講習を開催し、織物体験講師の育成を図りました。

- 開催日：令和7年3月12日（水）
- 内容：織機組立、経糸の糸入れ、筈入れ、機拵えの調整
- 参加者：4名

3 染色講習会の開催

染色グループ「網野染色研究会 茜」の活動の拠点として施設を提供しながら染色技術の向上や次世代の育成を図り、地域内での関心、興味を高めるため「こども染色教室」を企画しましたが、応募者がなく中止としました。

4 丹後地域生産者・製造者レベルアップ支援事業

丹後地域の加工事業者等に対し、販路開拓に資する加工技術に関する研修を行うことで事業者及び地域の総合的なレベルアップを図りました。

(1) 食品品質向上セミナー

第1回 ブランド作りセミナー

- 開催日：令和6年10月2日（水）
- 場 所：丹後・知恵のものづくりパーク B棟2階 大研修室
- 内 容：「食を強くするブランドづくり」
- 講 師：静岡県立大学経営情報学部 教授、学長補佐・地域経営研究センター長 岩崎 邦彦 氏
- 受講者：丹後地域の事業者 37 業者 46 名（オンライン 12 名含む）

第2回 販路開拓セミナー

- 開催日：令和7年3月18日（火）
- 場 所：丹後地域地場産業振興センター 2階 研修室A
- 内 容：小売の"いま"がわかる！バイヤーの心をつかむ販路開拓 実践セミナー
- 講 師：SHIGENSANBI PROJECT 代表／GOOD NATURE STATION マーケット事業部 シニアマネージャー 本山 喜之 氏
- 受講者：丹後地域の事業者 9 業者 11 名

Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

(1) 令和6年度Tango Good Goods認定事業

平成11年度から取り組んでいるTango Good Goods認定事業を引き続き実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進しました。

併せて、Tango Good Goods認定品へのロゴシール貼付を促進し、地域ブランド商品としての差別化を図りました。

【Tango Good Goods認定状況】

- 令和6年度申請：34業者／56点
- 令和6年度認定：30業者／52点
- 認定は3年間有効なため、累計（令和4～6年度）86業者/176点
- 令和6年度優秀産品表彰：5点（ロゴシール作成・配布）

【Tango Good Goods 認定推進委員会開催】

認定事業内容の策定と認定商品の決定等を協議（委員 10 名）

- 第1回：令和6年4月19日（木）
- 第2回：令和6年6月27日（木）
- 会場：丹後地域地場産業振興センター

【Tango Good Goods 認定審査会開催】

- 日程：令和6年6月25日（火）～26日（水）
- 会場：丹後地域地場産業振興センター
- 審査員：デザイナー、食品表示アドバイザー、マーケティングアドバイザー、バイヤー（計4名）
- 内容：全体講評・商品個別相談

【Tango Good Goods 認定品カタログ作成・配布】

- BtoB用 Tango Good Goods 認定品カタログ作成（700部）
- バイヤー向けに Tango Good Goods 見本市等で配布

（2） 第26回Tango Good Goods見本市

京都丹後ブランド産品会との共催により、令和6年10月12日（土）・13日（日）に「野田川わーくぱる」にて初開催。令和6年度Tango Good Goods認定品等を一堂に展示し、地域内でのPRと流通促進を図りました。 **出展者：23社（前年度42社）**

前年度の宮津市体育館に比べ小規模な会場であったが、地域イベントとの連携により集客・販売額は出展者の想定を上回った。一方、地域の祭りと日程が重なったため出展者は減少し、**日程・会場の選定及び確保が課題**となった。

資料2（別冊3ページ）

（3） Tango Good Goods販路開拓支援事業

Tango Good Goods優秀産品を以下の商談会へ出展しました。

第19回 地方銀行フードセレクション2024

- 会期：令和6年10月29日（火）～30日（水）
- 会場：東京ビッグサイト 西展示棟
- 総来場者数：10,373名
（1日目：4,715名／2日目：5,658名）
- 出展事業者：うめや本舗、橘商店、天橋立ワイン

資料3（別冊5ページ）

2 京都丹後ブランド産品会の支援

Tango Good Goods認定事業者のうち、地域外への販路開拓を志向する事業者が結成した「京都丹後ブランド産品会」の活動を支援し、新商品開発及び商品改良指導、販路開拓等の事業を実施しました。

【主な活動】

- 「丹後のええもん うまいもん展」開催
- 展示即売会等の開催情報提供
- 中元・歳暮カタログの作成と配布
- ECサイトの運営支援

資料4（別冊6ページ）

3 地域特産品販路開拓事業

(1) 丹後王国「食のみやこ」との連携

丹後王国と連携し、京都市内の販売店等に向けて農産物・農水産加工品等の地場産品販路開拓や流通支援を実施しました。

(2) ふるさと納税返礼品商品開発研修会

京丹後市ふるさと応援推進課職員を講師に招き、人気返礼品の傾向や消費者ニーズの分析・解説を通じて競争力ある商品の開発を支援しました。

- 開催日：令和6年8月21日（水）
- 会場：丹後地域地場産業振興センター 2階研修室A
- 内容：「ふるさと納税活用で実現する販路拡大セミナー」
- 講師：高倉 遼 氏、上田 将志 氏（京丹後市ふるさと応援推進課）
- 受講者：11業者／13名

4 染色体験・手織体験事業

地域資源である丹後ちりめんや織物への理解促進と観光誘客を目的として、網野染色研究会「茜会」及び網野機業組合の協力を得て体験事業を実施しました。

【令和6年度受入実績】

- 染色体験：323名（前年度408名）
- 手織体験：54名（前年度40名）

IV 情報収集・提供事業（公益目的事業1）

1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工し新商品の開発、改良の基礎資料としてもらうため出展者へ毎月「アミティ情報」を発行しました。

消費者の購買動向、生の声を伝えることにより出展者の商品開発の一助としました。

資料6（別冊8ページ）

2 公式ホームページによる地域資源発信事業

地域生産者、消費者が手軽に利用できタイムリーな情報を提供することを心がけ、地域情報、センター情報、産品情報、広報等をセンター公式ホームページから発信しました。

併せて、丹後地域及びセンター情報を発信するSNSによる情報発信を展開し、身近な情報を提供することで、地域及びショップへの誘客の増加を図りました。

また、ホームページやふるさと納税サイトを含むECサイトへの誘導策としてSNSの活用に注力しました。

- 公式ホームページURL：<https://amitytango.jp/>
- SNS活用状況：Facebook・Instagram・X に投稿

3 物産展等の販売機会情報収集提供事業

各地域の地場産業センターや、地域内外で開催されるイベント等に関する物産展情報を収集し、京都丹後ブランド産品会の会員等へ提供しました。これにより、地域の魅力を発信するためのPR機会を会員等に提供しました。

資料5（別冊7ページ）

4 DX化推進事業

地場産品製造事業者との情報共有及び業務効率化を目的に、デジタル技術を活用した販売分析情報発信システムを構築しました。従来、郵送で配布していた販売分析レポートを「Python」を用いた自動配信へ切り替え、ふるさと納税関連業務の一部も自動化しました。これにより、情報伝達を迅速化し、大幅な業務効率化を実現しました。

V 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業1）

1 地場産品常設展示

当センターの重要な柱の事業である地場産品のPRを目的とする常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ189業者の地場産品約3,000品目に及ぶ製品を展示・販売しており、来館者の注目度も高く、観光関連業者からのご案内も数多くいただきました。

地域の観光資源としての機能強化を図るとともに、丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの把握による需要拡大に努めました。

地域住民への利便サービスの向上による来場者の増加を目指し、新たに加工支援センター商品コーナーの設置や農産物直売コーナーの充実を図りました。

また、店舗における購買動向を分析し、出展者の商品開発、改良に寄与するほか、センター事業の企画立案の基礎としました。

2 丹後産品情報発信事業

京都丹後ブランド産品会との共催で、消費者向けのカatalog（中元・歳暮の2種）を作成し顧客等へ配布するとともに、消費者が直接産品を購入できるECサイトの運営強化（レビュー機能の充実等）及び京丹後市ふるさと納税サイトの啓発を図りました。

【中元・歳暮】

中元カタログ数：37,500部、販売額：3,625,724円（前年度比91.1%）

歳暮カタログ数：35,000部、販売額：2,706,299円（前年度比93.8%）

【ECサイト】 販売額：5,731,613円（前年度比123.2%）

独自ショップ：4,404,307円（前年度比127.6%）

Yahoo!ショップ：1,327,306円（前年度比110.4%）

【ふるさと納税】

資料7（別冊58ページ）

京丹後市ふるさと納税（果樹不作や「高額商品」取扱店廃業で減少）

販売額：12,796,535円（前年度比76.5%）

資料8（別冊59ページ）

Ⅵ 会館提供・コミュニティ事業（収益事業１）

1 会場提供事業

当センター２階施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出すとともに地域コミュニティの場として地域活性化の一助とすることを目的としました。

資料９（別冊60ページ）

2 「恐丹後お化け屋敷」開催協力

丹後緑風高等学校企画経営課が毎年観光コンテンツ造成を目的に取り組んでいる「恐丹後お化け屋敷」について、6年度は丹後地域地場産業振興センターを会場に、地域コミュニティ事業の一環として開催協力しました。

併せて、同校で地元事業者と商品開発したスイーツの模擬店販売を実施しました。

【恐丹後お化け屋敷】

開催期間 令和6年8月9日（金）から11日（日）

恐丹後お化け屋敷入場者数 746名

スイーツの模擬店販売額 4社 536,640円

Ⅶ 誘客販売事業（収益事業２）

1 販売事業

来館者等のニーズを捉え、土産品としてキーホルダー、野村克也ベースボールギャラリーグッズ等を販売しました。

2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設23年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ており、朝市出展者会の協力の下、令和6年度も引き続き毎週日曜日に開催しました。また、以下のとおり感謝祭を開催しました。

（１）アミティ丹後「春の感謝祭」

- 開催日：令和6年4月28日（日）午前8時から午前10時
- 来場者：400名（前年度：300名）

（２）アミティ丹後「秋の感謝祭」

- 開催日：令和6年11月3日（日）午前8時から午前10時
- 来場者：300名（前年度：350名）

3 野村克也ベースボールギャラリー

故野村克也氏からの貴重な寄贈品を京丹後市から貸与いただき、氏の功績をたたえとともに、地域の観光資源として展示を行いました。

資料10（別冊62ページ）

Ⅶ 丹後地域外食品加工受託（収益事業３）

1 京丹後市食品加工支援センター

加工支援センター（新商品・新技術開発支援事業）の設備を活用し、丹後地域外からの製造依頼にも対応しました。

- 製造： 5件（前年度： 4件）
- 試作： 7件（前年度： 9件）
- 相談： 16件（前年度： 15件）

Ⅷ 管理事業

1 理事会の開催

開催日	主な審議内容
令和6年6月4日（火）	○令和5年度公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業報告について ○令和5年度公益財団法人丹後地域地場産業振興センター収支決算について ○評議員会の招集について
令和6年6月19日（水） （みなし決議）	○理事長の選任について ○専務理事の選任について
令和7年3月25日（火）	○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター給与規程の一部改正について ○令和6年度専決処分事件の承認を求めることについて（予算補正（第1号）） ○令和6年度専決処分事件の承認を求めることについて（予算補正（第2号）） ○令和7年度事業計画及び正味財産増減予算の承認について

2 評議員会の開催

開催日	主な審議内容
令和6年6月19日（水）	○令和5年度公益財団法人丹後地域地場産業振興センター貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について ○理事の選任について ○監事の選任について ○評議員の選任について
令和6年7月22日（月）	○評議員会長の選任について

3 監査会

開催日	内容
令和6年5月23日（木）	○令和5年度事業・決算監査

4 全国地場産業振興センター協議会

(1) 全国地場産業振興センター協議会総会

- 日時：令和6年7月4日（木）
- 場所：「道の駅」都城NiQLL 多目的室
- 内容：
 - 令和5年度事業報告及び収支決算について
 - 令和6年度事業計画（案）・収支予算（案）について
 - 次期総会開催センターの決定について

(2) 全国地場産業振興センター協議会近畿・中国・四国地区連絡協議会

- 日時：令和7年1月23日（木）
- 場所：備後地域地場産業振興センター 1F工房
- 内容：
 - 姫路センター退会に伴う全国協議会会長及び総会開催地の確認とブロック幹事センターについて
 - 各センターからの協議・提案事項について
 - 各センター事業紹介

(3) 全国地場産業振興センター協議会 研修会

- 日時：令和7年2月6日（木）
- 場所：オンライン参加
- 内容：
 - 「目指すべき 未来へ結ぶ DXの現状と提案」
 - 意見交換会